

# ジョージア政治・経済 主な出来事

【2016年2月15日～2016年2月21日】

[当地報道をもとに作成]

平成28年2月23日

在ジョージア大使館

## 1. アブハジア・南オセチア

### 【アブハジア】

#### ▼ジョージア政府がアブハジアに供給する電力のロシアからの購入を決定(16日)

・エングリダムの水位の低下により、アブハジアで電力不足が生じている問題について、ジョージア、ロシア、アブハジア間で協議が行なわれ、ジョージア政府がロシアから電力を購入しアブハジアに供給することで合意。

#### ▼「アブハジア共和国大統領」と露大統領の会談(18日)

・ハジンバ「アブハジア共和国大統領」とプーチン露大統領がモスクワ郊外で会談。ハジンバ「大統領」は、会談の冒頭、「前回(2015年5月)の会談以降、(同盟と戦略的パートナーシップに関する)協定に関連して分野ごとのいくつかの合意が署名された。安全保障、経済、社会保障の分野でも問題の解決が進められている」「アブハジアに住む露国民の年金の引き上げは既に開始された」と述べた。露政府によれば、会談でプーチン露大統領は露・アブハジア間の特別な関係を強調し、「経済、安全保障を含むあらゆる分野で関係が発展している」と述べた。

・ハジンバ「大統領」はノヴァク露エネルギー相とも会談し、アブハジアへの電力の供給について感謝を述べた。

### 【南オセチア】

#### ▼「南オセチア共和国」大統領の発言(20日)

・南オセチア「議会」でティビロフ「南オセチア共和国大統領」は、南オセチアのロシアへの編入をロシアに要請する権限を大統領に付与する憲法修正に関する住民投票の実施を提案。

## 2. 外 政

#### ▼EUの対ベラルーシ制裁解除に関する外務省声明(16日)

・ジョージア外務省は、EUによる対ベラルーシ制裁解除を歓迎する声明を発表。声明は、「ベラルーシ・EU関係の強化は地域の経済発展および東方パートナーシップの共通の目標に資するものである」と述べている。

#### ▼トルコ外相のジョージア訪問(17日)

・チャヴシヨール・トルコ外相がジョージアを訪問。マルグヴェラシヴィリ大統領、クヴィリカシヴィリ首相、ジャネリゼ外相らと会談。

・「ジャ」外相との会談では両国関係、ハイレベルの相互訪問の促進、貿易・経済協力、地域的な物流・エネルギー

プロジェクトの実施に向けた両国の共同の努力などについて議論。「チャ」トルコ外相はジョージアのEU・NATO加盟に対する支持を再確認した。

#### ▼ジョージア、アゼルバイジャン、トルコ3か国外相会談(19日)

・ジョージア、アゼルバイジャン、トルコの3か国の第5回外相会談がトビリシにて行なわれた。採択された共同声明は、「アジア・欧州間の物流の促進におけるバクー＝トビリシ＝カルス鉄道の重要な役割」を強調している。

・トルコで起こったテロ事件を踏まえ、マメディアアロフ・アゼルバイジャン大統領は、安全保障および法執行の分野における3か国の協力の拡大を提案。

・会談後、3か国の外相はトルコ国境付近の鉄道の建設現場を視察した。

## 3. 内 政

#### ▼「宗教心の侮辱」を行政処分とする法案の撤回(15日)

・国会人権委員会が承認し、国会での審議が予定されていた「宗教心の侮辱」を行政処分の対象とする法案を、提出した与党連合議員が撤回。同法案はアムネスティ・インターナショナルなどNGOや与党連合内からも批判を受けていた。

#### ▼省庁の再編(17日)

・カダギゼ国立銀行総裁は、TV番組で、スイスには8つの省しかないとして、現在19ある省の一部は統合されねばならず、それによって行政支出が大幅に削減されると発言。欧州・欧州大西洋統合担当国務大臣室、矯正施設省、スポーツ・青年省、文化・遺跡保護省の廃止を提案。

・カラゼ・エネルギー相は、「将来、何らかの最適化は行なわれるだろう。いずれの省を廃止するかについて詳しく分析されねばならない」とコメント。

・カヒシヴィリ矯正施設相は、2016年の国会選挙後に省庁の再編が行なわれるかもしれないと述べた。

## 4. 経 済

#### ▼エネルギー相がイランを訪問(15日)

・カラゼ・エネルギー相がイランを訪問。エネルギー省によれば、「ジョージアとイランはイランの天然ガスのジョージアへの輸入の可能性を検討している」。

#### ▼WizzAirがクタイシ発着の新たな国際航空便の運行を発表(17日)

・ハンガリーの航空会社Wizz Airは、2016年9月より、クタイシとベルリン、ミュンヘン、ドルトムント、ミラ

ノ、ラルナカ（キプロス）、ソフィアを結ぶ航空便を週2回、クタイシ・テッサロニキ便を週3回運行すると発表。

・同社は既にクタイシとブダペスト、ヴィリニユス、ワルシャワとの間で定期航空便を運航している。

#### ▼2016年1月の貿易統計(19日)

・国家統計局が2016年1月の貿易統計(速報値)を発表。貿易額528百万ドル(前年同月比24%減)、輸出額122百

万ドル(同22%減)、輸入額405百万ドル(同25%減)。

・貿易相手国の内訳はEU諸国26%、CIS諸国32%。国別では貿易額の多い順にトルコ、ロシア、アゼルバイジャン、中国、ドイツ、アルメニア、ウクライナ、イタリア、ブラジル、ブルガリア。

・日本との貿易高は輸出額56.6千ドル、輸入額7,801.9千ドル。